

# チモシー新品種の試作状況

## 早生品種ホクセイ

(試験系統名：SB-T-8710)

## 中生品種ホクエイ

(試験系統名：SB-T-8704)

雪印種苗(株) 北海道研究農場

作物研究室長

高山 光 男

### 1 はじめに

全道各地において'96年より普及センターの方々と酪農家さんの協力を得てチモシー2系統(ホクセイ、ホクエイ)の試作を行っております。

2系統は系統番号での試作でありましたが、品種名候補が確定いたしましたので報告いたします。

早生チモシー：SB-T-8710はホクセイに、中生チモシー：SB-T-8704はホクエイに候補名が確定いたしました。早生チモシーは北の王様(ホクオウ)から北の星になってほしいという願いからホクセイ(北星)にいたしました。中生チモシーは北で選抜された品種(ホクセン)から北で栄える品種、ホクエイ(北栄)になりました。試作を系統番号で進めておりましたので、当面は品種名と併記して販売する予定であります。

ホクオウ、ホクセンに継いでホクセイ、ホクエイとなかなか覚えにくい品種名ですが、ホクセイ(早生)のセイとホクエイ(中生)のエイをつなげて、手前味そであります雪印の新品種セイ・エイ(精鋭)と覚えていただければ幸いです。

あります。

本文ではホクセイを中心に試作状況の中間報告と海外での採種状況も含めて報告いたします。

### 2 海外採種状況

平成10年からの本格販売に備えて、海外の採種状況を6月3~14日にかけて調査してきました。

写真1, 2に示すように、採種地はアメリカアイダホ州の北からカナダブリティッシュコロンビア州にまたがって栽培されています。訪れたときはホクセイ(早生)が出穂始め、ホクエイ(中生)が穂ばらみ始めであり、両品種ともにその特性が採種圃場においても確認されました。

ホクセイの葉幅は道内で見られる約1.5倍の幅があり、倒伏は認められず、ホクエイはやや葉長が短くこの圃場も全く倒伏は発生しておらず、極めて雑草が少ないクリーンな圃場でありました。

アメリカでは播種1年目(播種当年は採種できない)の所得確保に麦を同伴作物として利用するために、その後のスタンド状況が不安でありましたが、十分に確保されておりました。

牧草と園芸・平成9年(1997)9月号

目次

第45巻第9号(通巻535号)



チモシー新品種  
「ホクセイ」

□雪印交配・ハウレンソウラインアップ	表②
□チモシー新品種の試作状況	高山 光男… 1
□ルポルタージュ・米子中海干拓地における 防風作物の利用	茶谷 和範… 4
□粗飼料としての雪印「TMウエット」の利用方法	石田 聡一… 7
□「雪印乳量・乳成分予測ソフト」の紹介	沼原 健二… 10
□ユーザー訪問・動き出した 堆肥処理共同施設(千葉県 八千代市)	西 春彦… 14
□雪印交配・ダイコン優良品種ラインアップ	表③
□雪印交配・ダイコン新品種「春風太」	表④



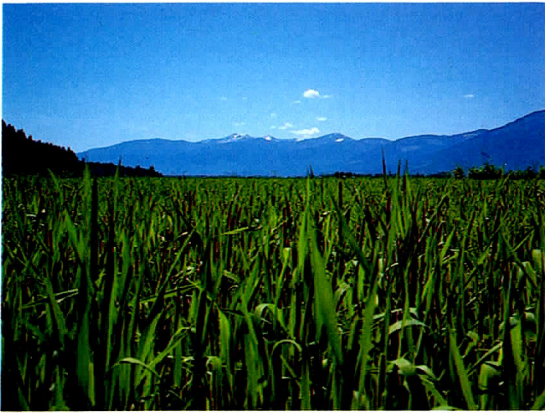


写真1 ホクセイのカナダでの生育状況



写真2 ホクセイのカナダでの生育状況



対照区：中央部より奥前面倒伏，中央より手前：ホクセイ一部ナビキ程度

写真3 ホクセイの試作状況



根元からは倒伏しない，歩くとフカフカした感じがする  
写真4 ホクセイのナビキ

### 3 道内試作状況

両品種の試作を'96年から3か年の予定で道内各地において試作が開始され、試作途中でありますが北海道研究農場（旧中央研究農場・長沼町）の試験結果も含め、ご報告致します。

ホクセイ（SB-T-8710）は本誌第45巻、第4号に詳しく紹介されておりますように、従来の品種よりも倒伏に強い品種であります。図1に示すように茎の繊維質は従来の品種とほぼ同じであります。葉が広く茎が太いために倒伏にも強く、また、葉が広いために葉部割合も高くなっておりません。

試作圃場は天候の関係で早刈りが進み、全圃場において倒伏の差を確認できませんでしたが、標茶町A農家さんの圃場においては写真3に示しますように明確な差が表れておりました。倒伏の多い奥の圃場は、対照のチモシー品種にホクセキ（ア

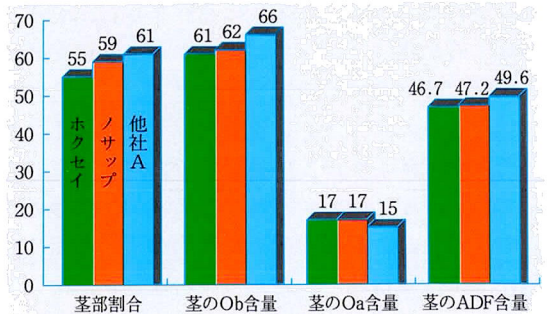


図1 早生チモシーの茎の特性  
(’96年、北海道研究農場、長沼町)

カクローバ）とソーニャ（中葉型シロクローバ）を混播し、ホクセイ（SB-T-8710）はマキミドリ（アカクローバ）とリベンデル（小葉型シロクローバ）を混播して比較しております。

また、倒伏している圃場におきましても、写真4に示しますように根元から倒伏することなく、なびいた状態で止まっており、次年度はより明らかな差が出るものと思われま。





写真5 裸地の多い従来品種



写真6 裸地の少ないホクセイ

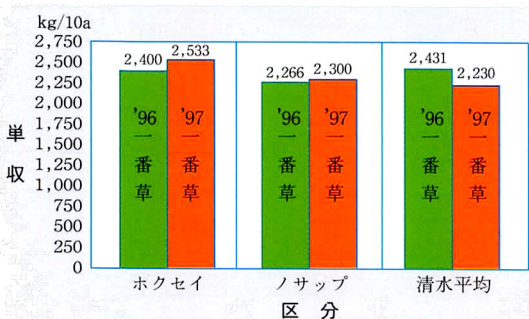


図2 牧草新品種現地比較試験収量(TY・AL)

収量性につきましてはほぼ従来品種と同程度と  
考えておりますが、収量データが全部回収され  
ておりませんので、その一部を紹介致します。

清水町は農協さんと普及センターさんが共同し  
て新しい品種の試験を行い、地域にあった品種の  
導入を積極的に行っております。

昨年の播種1年目は特に倒伏が多く、写真5に  
示しますように対照区は倒伏し、ムレたために裸  
地が多いのに対して、写真6のホクセイ区はナビ  
キ程度に止まったために裸地が少ない結果になり  
ました。2年目1番草は図2に示しますように約  
10%程度多収となりました。

釧路、別海の成績は表1に示すとおりでありま  
す。播種時期はいずれの圃場も'96年で、別海は夏  
播き、釧路は春播きであり、いずれの試作圃場も、  
倒伏前の収穫でありました。生草収量は対照区と  
ほぼ同じかやや多収であり、良好な結果が得られ  
ております。

表1 ホクセイの試作結果(1番草)

区分	別海O牧場 (アルフェルファ混播)		釧路H牧場		幌呂K牧場	
	ホクセイ区	対照区	ホクセイ区	対照区	ホクセイ区	対照区
チモシー 草丈(cm)	94.2	94.2	91.4	83.1	88.9	88.5
生収量 (kg/10a)	1,918	1,778	2,350	2,150	2,125	1,800
調査月日	'97年7月1日		'97年6月20日		'97年6月24日	

#### 4 まとめ

試作圃場は春播きと夏播き圃場の2パターンが  
ありますが、春播きは雑草が多く、特に永年草地で  
はシバムギ、ギシギシ、4~6年の更新間隔の草地  
でもギシギシが多く、1年目の秋にはこれらの雑  
草が優占しておりました。収量調査は比較的雑草  
の少ない圃場に限り行いましたが、ホクセイの  
耐倒伏性と収量性を確認することができました。

シバムギ、ギシギシ、リードカナリーグラスの優  
占している草地では近年普及されておりますラウ  
ンドアップの播種前処理とハーモニーを有効利用  
することにより、より一層ホクセイの特性が発揮  
されるものと期待されます。当社におきましても  
除草剤の有効利用も含めまして新品種ホクセイ、  
ホクエイの普及を図りたいと考えておりますので、  
ご協力のほど宜しくお願い致します。また、試作  
ご希望の方は最寄りの営業所までご連絡下さい。

最後になりましたが今回試作に協力していただ  
きました普及センターの方々や農協の皆様方に感  
謝の意を表します。今回は一部の試作結果を利用  
させていただきましたが、次回あるいは別の方法  
で他の試作結果も有効に利用する考えであります  
のでご了承ください。